

2023 年度 市民が共におこすまちづくり事業補助金報告書

第 2 回 今治発 Brave Heart 楽団

チャリティコンサート

一般社団法人 Brave Heart 楽団 代表理事 竹之下乃子



1：開催日時、場所

- 開催日時：2023 年 11 月 25 日（土） 14：00～17：00
- 開催場所：カトリック今治教会

愛媛県今治市北宝来町 1－2－1 3

2：内容

- 事業の目的

今治市が募集する、市民が共におこすまちづくり事業補助金を受け、障がい（発達障がい含む）や病のある子ども達に、音楽というサプリメントによる心の安定を提供し、健常児も交えた活動の中、音楽のバリアフリーを体感して、偏見や差別のないワンネスな世界への架け橋となる活動を継続していくことを目的とする。

・事業の内容「第2回今治発 Brave Heart 楽団チャリティコンサートの開催」

昨年度ファーストチャリティコンサートを行い、今年度も引き続きリアルに現場に出演できる団員と、入院中や在宅ケア児とはオンライン中継でつなぎ出演できる構成を企画し、11月25日にカトリック今治教会を会場として第2回チャリティコンサートを行った。

今回も子どものみならず、大人の方や観客の方にも積極的に参加頂き、支援・協賛団体とも連携を取りながら、楽団の団歌の作詞作曲者でもあるシンガーソングライターの杉山明さんにゲスト出演して頂き盛況となった。また、他のパフォーマーの方達に丁寧に指導をして頂いて、色んな障がいを持つ子らが一生懸命舞台上でパフォーマンスし、聞いてくださった人達とお互いにコミュニケーションを取り合えた場となった。プロアマの垣根もなく楽団の活動を応援して頂いている事もさらに広く周知して、昨年度より多くの市民の皆様に参加して頂けた。

・チャリティコンサートの意味について

チャリティであるので、もちろん寄付を募って開催しているが、当楽団に対する寄付を募るだけではなく、当楽団が何らかの社会貢献をなすことも意図している。障がいや病を抱える者は、常に社会的弱者として、誰かに応援してもらう立場であることが多いが、そんな垣根をも取り払い、誰もが誰かを応援したりされたりする世の中を願い、当楽団は活動している。昨年行った第1回チャリティコンサートでは、18トリソミーの少女に足漕ぎ車いす「COGY(コギー)」を贈呈した。今年は、今治市内で自然農法をされている今治自然栽培農業学校へ苗代などを寄付することができた。

・事業の開催方法について

開催については、当日会場でのリアル参加と、オンライン配信にて開催した。参加については事前予約と当日受付の両方を受け付けた。オンライン配信を希望される方の事前予約が多数だった。配信はzoomで行う予定だったが、当日不具合が生じ、上手く配信できない部分があった。

・集客について

集客はチラシとSNSを活用した告知を行った。まずは、本事業に今治市と今治市教育委員会の後援を依頼し、その旨を載せたチラシを2600部作成した。そのチラシを団員で

手分けをして、今治市内の小学校、公民館、商業施設、介護福祉施設、病院などに掲示や配布をお願いした。また、西条市在住の団員もいるため、西条市内でも各施設をお願いをした。どの施設でも興味をもって頂き、快く掲示や配布に協力して頂き、大変感謝している。SNSでの告知は当団員を中心に、多くの方にご協力頂き、周知を図った。zoomでの視聴申し込みは33名、現地来場者数は75名と、昨年度をはるかに超える数の市民の皆様にご足を運んで頂いた。

・事業の効果

今回のチャリティコンサートを無事開催できたことで、親たちのみならず障がいなどを持つ子ども達自身も、達成感を得ることができ、また自己肯定感や協調性を高めることができた。また、コンサートという色んな人が集える場を設けることで、様々な特性のある子のこと、その子らができることを知ってもらうことに加え、心のサプリメントである音楽の持つリラックス効果やコミュニケーションを引き出す力で、出演者たちと来場者双方のコミュニケーション・意識付けが効果的に出来た。今後も差別や偏見のない、ワンネスな世界を創造していこうとするウェーブが、今治市内へ波及していくことを願っている。

3：所感

来場・視聴頂いた参加者の皆様、事業開催にあたりご協力頂いた多くの関係者の皆様に謝辞を申し上げる。

本事業に採択されたおかげで、プロの方々や遠隔の出演者と直接会って交流の機会を持つことができ、普段と違う色々な体験ができたことが、障がいや病のある子ども達の積極性を伸ばす一助になったと、コンサートを終えた子ども達の様子を見て感じている。普段応援される側にいることが多い障がい児・者も、自らのパフォーマンスによって、応援する側にも立つことができることが実践され、だれもが社会貢献できるという自信に繋げることができたのではないかと考えている。今後は施設慰問活動も始めていき、地域社会に貢献できる機会も増やしていきたいと考えている。

事業を開催しての効果に、確かな手応えを感じている。何より、市民の皆様と共に音楽を共有し、垣根を越えた一体感を得ることのできるコンサートを、今治市で実現し、継続していくことこそ、これからの子ども達に必要なことであると実感している。今後とも、人と人がつながり、地域について考え、その助けとなる活動ができればと思っている。

本事業を支援頂いた、多くの方々に感謝申し上げ、本事業活動報告とする。以上。

4：当日の写真など



※ 開催風景



※ ハンドベル



※ ドレミパイプ演奏



※ 楽器演奏



※ ゲストステージ①



※ ゲストステージ②



※ 大阪から参加の 18 トリソミーの少女



※ 集合写真